

トピックス

当発電所に31名の新入社員が配属となりました 地域社会の一員としてよろしくお願いいたします

平成22年度の新入社員が当発電所に31名配属となりました。希望と情熱を胸に抱き、元気よく日々の業務や研修に取り組んでいます。

一日も早く発電所の安全・安定運転に貢献できる人材に育ててまいりますので、よろしくお願いいたします。



▲これからの発電所を担う平成22年度の新入社員

【発電所の運転状況（4月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	第19回定期検査を実施しています
2号機	運転中	順調に運転しています
3号機	運転中	順調に運転しています

トピックス

5月は原子力エネルギー安全月間です

毎年5月は、原子力事業者における安全文化の浸透・定着を通じ、原子力安全確保に対する意識高揚を目的として、「原子力エネルギー安全月間」に定められています。

当発電所では年間を通して正面玄関内などに「女川原子力発電所安全運転宣言」を掲示していますが、原子力エネルギー安全月間に合わせてポスターや垂れ幕の掲示、講演会の開催などにより発電所職員の安全に対する意識高揚に努めてまいります。



▲発電所正面玄関に、安全に対する意識高揚をはかるポスターなどを掲示しています

ふれあい

女川町ソフトボール協会から感謝状をいただきました

当発電所はこの度、女川町ソフトボール協会（佐藤長六会長）から「協会の活動を支援している」とのことで、感謝状をいただきました。

当発電所では、女川町内において「東北電力杯争奪ソフトボール大会」を18回後援開催しており、こういった活動がソフトボールの振興と普及に貢献したと認められました。

今後とも地域のスポーツ活動などの行事に参加・協力してまいります。



▲いただいた感謝状を掲げる渡部発電所長と後村調査役

ふれあい 女川町小乗浜・高白浜地区で道路清掃を実施しました

平成22年春の交通安全運動の一環として、4月19日に発電所職員15名と構内協力企業の社員66名が道路清掃を実施しました。

当日は、女川町小乗浜・高白浜地区の約4kmの区間で、道路沿いに落ちている空き缶・瓶やゴミを拾い、道路の環境美化に努めました。



▲春の日差しを浴び心地よい汗を流しながら清掃を行いました

お知らせ 女川原子力PRセンターにて「ローズガーデンフェア」を開催します

女川原子力PRセンターでは、6月1日から1カ月間、「ローズガーデンフェア」を開催します。

今年で4回目となるフェア期間中の土日には、「ミニバラの苗木プレゼント(抽選)」をはじめ、「ミニバラと観葉植物の寄せ植え教室」、「モザイクタイルのクラフト教室」など、お楽しみいただける様々なイベントを実施いたします。

また、PRセンター庭園内にある「バラの回廊」では、赤や黄色等、多くの種類のバラをご覧いただけますので、ぜひお誘いあわせの上お越しください。



▲バラが咲き誇る「しあわせのバラのトンネル」(昨年6月撮影)

(お問い合わせ)
 女川原子力PRセンター 電話 0225-53-3410
 開館時間 9:30~16:30
 休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合翌日)
 年末年始

* 高レベル放射性廃棄物の処理について(1) *

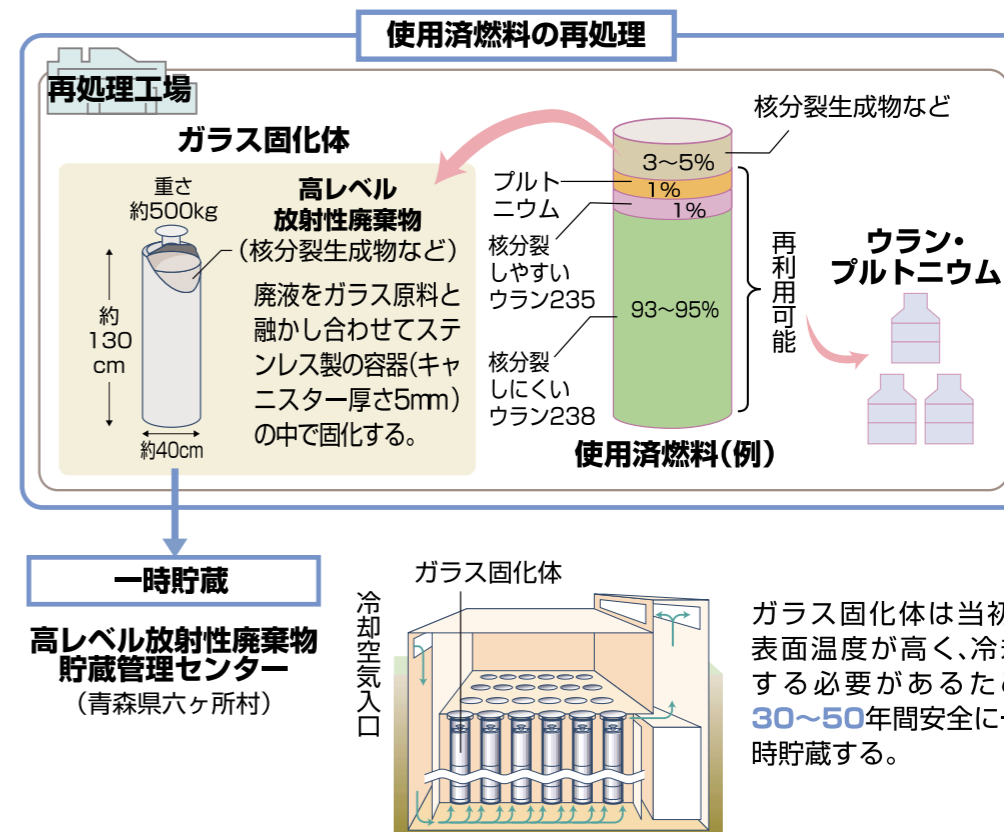
原子力発電所で使い終わった燃料から、再利用できるウランやプルトニウムを回収すると、核分裂生成物を含む放射能レベルの高い廃液が残ります。

この廃液は、ガラス原料と融かし合わせて、固めて「ガラス固化体」(高レベル放射性廃棄物)* にします。ガラスは水に溶けにくく、化学的に安定しているため、放射性物質を長期間閉じ込めるのに優れています。ガラス固化体は、青森県六ヶ所村の「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」で30~50年間貯蔵し、冷却します。(次号に続く)

※ガラス固化体は廃液とガラスを混ぜて融かし固めたもので、色ガラスの色の成分のように、放射性物質はガラスと一体化しているので、ガラスが割れても廃液が出てくることはありません。



高レベル放射性廃棄物の処理・処分方法



出典：原子力2010(コンセンサス)(電気事業連合会)